

2026年6月8日

キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 合格体験記

1級受検番号 NO:05F3120115 氏名 E.S (大阪在住)

| |
|---|
| ■1級技能士を目指したきっかけ |
| キャリアコンサルティングの実務に携わる中で、相談者支援だけでなく、キャリアコンサルタントの成長を支援する事例指導にも関心を持つようになり、自らの実践を見つめ直す機会になると考え受検を志しました。 |
| ■当初の勉強法 |
| 受検を意識した当初は、テキスト学習（当会の赤本及び青本）や対策講座（当会の論述対策及び面接対策）の受講を中心に進めていました。理論や制度の理解は深まり、学科試験については、比較的容易に「一発合格」いたしました。実技試験においては、せっかく当会の先生方のご指導を賜ったにもかかわらず、復習が十分でなかったため、論述試験は合格（初回より合格点到達）でも、面接試験の方は合格に至ることはありませんでした。 |
| ■合格のきっかけ |
| 当会対策講座におけるご指導により、「相談者支援」と「事例相談者支援」の違いを明確に理解した上で、事例を俯瞰的・構造的に捉える視点を意識的に維持できるようになったことが、合格のきっかけとなりました。わたくしの場合は、他機関による対策講座等の存在を知らず、はじめから当会の教材及び対策講座のみで合格に至りましたので、当会との出会いが合格のきっかけであることも申し添えます。 |
| ■論述試験対策 |
| 論述試験対策では、知識を増やすことよりも、設問の意図を正確に捉えることを重視しました。問題背景、見立てなど各設問が何を求めているのかを整理しながら当会の添削問題や過去問題を取り組みました。また、限られた文字数の中で要点をまとめる練習を重ねたことも有効だったと思います。 |
| ■面接試験対策 |
| 当会の対策講座のご指導を踏まえ、事例ごとの構造理解と想定問答の整理を行いながら、事例相談者への関わり方を繰り返し検討しました。 |
| ■受検される方へメッセージ |
| 1級キャリアコンサルティング技能士検定合格を目指し、知識や技法を増やすことに力を注いでいた時期よりも、自らの支援を振り返り、事例を構造的に捉えることを意識し始めてから理解が深まったように思います。結果もちろん大切ですが、その過程で得られる気づきや学びこそが、キャリアコンサルタントとしての実践を支える財産になるものと信じます。 |